Ver.05

公益社団法人日本青年会議所 2026 年度 基本方針	
	徳島ブロック協議会　会長 澤田　明宏
ブロック協議会の幸せな社会	真の心が人と人を結び、幸せが連鎖する徳島の創造 地域の青年会議所が中心となって偽りや飾りのない誠実で純粋な「真の心」を軸に、高い志を持って様々なことに臆することなく挑戦し続ける姿勢でまちに真剣に向き合っていきます。人の幸せを願い行動する心が連鎖し、共感が広がることで、地域に幸せの循環が生まれる社会を創造します。
ブロック協議会の役割	徳島ブロック協議会は、各 LOM と地区協議会、本会を繋ぎ、最新の情報の共有を行います。そうすることで LOM 同士が連携をしやすくし、各 LOM の課題、地域課題を徳島ブロック全体で取り組む体制を構築していきます。協議会のスケールメリットを生かし、運動の最大化を目指し全国運動の推進力を高める方向性を示すことがブロック協議会の役割と考えます。また、南海トラフ地震などの際は、四国全体の情報を集約し、本会・各ブロックと連携して調整と後方支援を行い、現場が対応に専念できる体制を整えます。
ブロック連携事業（政策手法）	1. FCP(Family Continuity Plan:家族継続計画)の導入に向けた運動の推進
	学校教育の一環として地域の実情に合った FCP（家族継続計画）の重要性について出前授業を実施します。出前授業で学んだ内容を家庭に持ち帰り、家族で FCP を策定し、学校や家庭に掲示します。災害時に平常時とは異なる精神状態となった場合でも、家族の安全を確保し、防災・減災のための行動をとることができるようにします。また、FCP コンテストを実施し、徳島県で応募をできる流れからゲーム感覚で家族と一緒に考えることができる仕組みを作ります。
	2. 日常から始めるカーボンニュートラル推進事業
	日常からの推進事業を構築することで、家庭から始めることができる、短期間で取り組めるプログラムとしてパッケージ化することで、多くの人々が日常生活で環境配慮行動を実践できるよう支援します。そのなかで、徳島県が推進しているエシカル消費の考え方とカーボンニュートラル推進を掛け合わせる事業を構築することで、生活に溶け込むパッケージにしていきます。
	3. ブロックアカデミーにおける JAYCEE 育成カリキュラムの運用
	ブロック協議会と連携し、全国のアカデミー生に適用でき、成長につながる育成カリキュラムの運用を行い、共通の価値観を持ったリーダーを育成することを目指します。ブロック協議会内の重点連携 LOM の事業とブロック協議会の事業を連携することでブロックのスケールメリットを活かします。
ブロック協議会独自の事業	1. 災害ネットワークの連携強化に関する事業
	【背景】 徳島県は、南海トラフ巨大地震の発生が高い確率で想定されている地域であり、県内全域に甚大な被害が及ぶことが予測されています。特に、沿岸部では大規模な津波被害、内陸部でも土砂災害や河川氾濫の危険性が指摘されています。さらに、過疎化・高齢化が進んでおり、災害時に避難行動が困難な高齢者世帯が多いことも課題です。地域コミュニティのつながりが弱まるなかで、家庭単位での備えと地域との連携を強化する必要性が高まっています。 【目的】 徳島ブロック協議会が中心となり、学校教育に FCP を組み込むことで、家庭から自然と防災意識を根付かせることを目的とします 【手法】 学校教育を通じて子どもが家庭に防災意識を広げる仕組みを構築し、家庭単位での FCP 策定を普及させ、また、地域と連携し、企業・行政との協働により多層的な防災ネットワークを形成し、地域全体の防災力を高めます。
	2. JC カップ U－11 少年少女サッカー国際大会に向けた地区予選

	【背景】 未来の地域を支える子どもたちに「グッドルーザー」の考え方を伝え、道徳心と自立心を育むことを目指します。失敗や挑戦から学ぶ力を養い、思いやりと責任感を持つ人を育てることが、幸せな社会の実現に不可欠です。 【目的】 子どもたちが挑戦と失敗から学び、道徳心と自立心を育む機会を提供し、未来の地域社会を支える人財を育成することを目的とします。 【手法】 地域の未来を担う 11 歳以下の子どもたちに対し、スポーツ通じて、道徳心と自立心を持った人財の育成を目的とし、県内のサッカーチーム 8 チーム or16 チームを一同に集め徳島予選大会を実施します。また、事業内容をブラッシュアップし、他団体による同時開催などを考え、大会のブランディング強化を図ります。
	3. 徳島ブロック鳴門板野大会の実施
	【背景】 ブロック協議会すべてのメンバーが一堂に会する機会は限られています。また、ブロック大会を開催することで、式典では次年度体制への引継ぎを多くのメンバーと共有することができます。また事業では、地域の魅力を広く発信し、市民が参加できる事業を通じて地域の活性化を促進することができると考えます。 【目的】 徳島県の玄関口である鳴門・板野で開催する徳島ブロック大会は、地域の魅力を広く発信し、市民参加型の事業を通じて地域の活性化を促進し、県内各地の青年会議所メンバーが一堂に会し、交流と結束を強めることで、未来を担う人財を育み、地域社会のさらなる発展に寄与することを目的とします。 【手法】 地域の魅力を最大限に発信するために、市民が参加できる記念事業や交流型プログラムを展開します。子どもから大人まで楽しめる体験型イベントを通じて地域資源の再発見を促し、地域住民の郷土愛を高めます。同時にブロック大会で式典を開催し次年度へと引き継ぐ場を創ります
	4. 地域資源を再認識し、戦略的に発信する事業
	【背景】 徳島県は豊かな自然や文化、特産品、地方創生の取り組みに恵まれる一方、人口減少や若者流出による担い手不足が課題であり、暮らしやすさと挑戦できる環境の両立が求められています。 【目的】 地域資源を活かした産業・文化を再認識し、戦略的に発信することで、様々な人が関わり、地域で挑戦できる環境づくりをします。 【手法】 地域の歴史・文化・産業に関するデータ収集や現地調査を行い、地域資源を再認識します。企業や関係機関と連携し、マーケティング視点から戦略的に発信します。さらに若者が学び働ける環境整備や U ターン促進、観光・特産品の活用を通じ、暮らしやすく挑戦できる地域を実現します。
ブロックによる LOM 支援の実施内容	1. メンバー一人ひとりが当事者意識を持って拡大運動に取り組める体制を整える 2. 各 LOM の課題を抽出し、地区協議会と共有をする体制を整える 3. LOM のニーズに基づく各種プログラムの導入推進と実施

前年度より 引き継いだ 重点連携 LOM	LOM 名:阿波池田青年会議所 LOM 名:吉野川青年会議所